



## ゴグル形遮光めがね取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
この製品を正しく安全に使い、機能を十分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。  
この説明書は、読み終わった後も大切に保管して下さい。  
本製品はゴグル形遮光めがねですが、本製品の使用によって眼及び身体等への損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

### 1.本製品使用前のご注意

本製品は、弊社品質基準に合格しております。製品には万全を期していますが輸送途中等にキズや変形が生じる場合があります。ご使用になるときは、必ず事前に点検をして下さい。

### 2.本製品の用途

下記の作業環境に役立ちます。

ゴグル形遮光めがねは、JIS規格同等の性能を有する遮光シート（＃1.7、3）を使用しており、有害な紫外線、赤外線及び強い可視光線を放射する作業現場における作業者の眼を守ると共に、飛来粉じんや空中に浮遊する粉じんなどが発生する作業に役立ちます。

ガス溶接・溶断作業、ガス溶接周辺作業、炉前作業などに役立ちます。

アーク溶接・溶断及び高速飛来物の発生する作業には使用しないで下さい。

### 警告



- ① 上記以外の用途に使用しないで下さい。
- ② 有害光線に対して最適な遮光能力を有するフィルタレンズ及びプレートを使用して下さい。  
(JIS規格に記載されている使用標準を参照して下さい。)
- ③ 作業中にゴグル形遮光めがねを外さないで下さい。
- ④ ゴグル形遮光めがねをレーザー光遮光用として使用する事は絶対にしないで下さい。

### 3.本製品の着用の留意点

- ① 使用する前に、絶えずフレームのキズ・変形、レンズのキズ・透明度及びベルトの弾力性等の点検をして下さい。  
(長期間の紫外線暴露等により劣化する可能性があります)
- ② ゴグルを顔に掛けたとき隙間が出来ないように装着して下さい。
- ③ 強く装着したり、ずり落ちたりしない様にベルトで調整して下さい。
- ④ 特に視力矯正用めがねやマスクと併用してご使用する時は、隙間が出来ないように調整して下さい。

### 4.レンズの特徴

日本工業規格は有害光線が発生する作業場には、その種類に適應する遮光度番号のレンズを規定しています。直接作業だけでなく、周辺の作業、見学者もめがねの装着が必要です。本製品のレンズは、日本工業規格JIS T 8141に定めるレンズ規定と同等の遮光性能のレンズを使用しています。

(裏面に続く)

### 5.保守・管理

取扱いは丁寧に行って下さい。  
レンズに汚れやスパッターによるキズがあると、遮光能力、耐衝撃性の低下や眼の疲労の原因になり危険です。

- ① レンズにキズが付かない様に取り扱って下さい。
  - レンズを直接他の物体に接触させないで下さい。
  - ゴグルを置くときは、必ずレンズ面を上向き又は横向きにして下さい。
- ② 常にレンズはきれいにして下さい。
  - レンズが汚れた時は、汚れた手袋、タオル、布などで拭かないで下さい。  
(レンズにキズが付く恐れがあります)
  - ゴミ、ホコリ、鉄粉や油脂などが付着した場合には、水で汚れを落とした後、柔らかい布地などで軽く拭いて下さい。(防曇レンズ仕様のめがねについては下記参照)
- ③ 長期間、使用しているとレンズの耐衝撃性、耐磨耗性が低下したり、フレームが変形する場合があります。ご使用毎に点検をして安全を確認して下さい。
- ④ 使用後はレンズ及びフレームの汚れを落とし、粉じん等が付着しない様ケースに入れるか、付着しない場所に保管して下さい。
- ⑥ 直射日光の当たる場所、高温の場所、有機溶剤を使用する場所には保管しないで下さい。

### ※防曇レンズ仕様の、ゴグルについては

保管状態によっては、レンズ表面が白っぽくなる事があります。これは防曇剤の働きによるものです。ご使用前に柔らかい布等で軽く拭き取って下さい。

- ① キズや汚れは防曇効果が低下する場合があります。
- ② レンズが汚れた場合には、水を含ませた柔らかい布等で汚れを落とし軽く拭いて下さい。
- ③ 防曇効果が低下した場合には、別売の曇り止め剤「デミスト2」をご使用下さい。

### 6.消毒方法

消毒が必要な場合には、水道水で薄めた0.1%以下の塩酸アルキルジアミノエチルグリシンなどの消毒液をご使用下さい。

### 7.交換時期

- 下記の場合は、速やかに交換して下さい。  
事故、破損や眼の疲労の原因となり危険です。
- ① レンズにキズが付き、見えにくくなったとき。
  - ② レンズ及びフレームにヒビ、変形等が生じた場合やベルトの伸縮性が低下した場合。

### 8.改造、修理等

- ご使用者による以下の改造、修理等は事故、破損の原因となり危険ですので絶対におやめ下さい。
- ① 改造、変形等。
  - ② 接着剤等による修理。

### \* 製品に関するお問い合わせ



大阪 〒577-0056 東大阪市長堂3-25-8 TEL 06-6783-1101  
東京 〒113-0034 東京都文京区湯島2-1-13 TEL 03-3834-1876  
URL <http://yamamoto-kogaku.co.jp>